

看護の基礎化学

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・川崎雅志

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢

看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：10

■ 授業概要

看護の実践は、実は化学と深い関係がある。人体に対する医療的な働きかけは、化学的な視点なくして理解できないものである。例えば、薬を投与した時に、人体の内部で生じている様々な変化は、化学的な知識なしに理解できないものである。人体という有機体の中で、化学的にどのようなことが生じているか、このことを理解することによって、理にかなった医療が提供できるのである。高校までの化学の学び方とは違う、看護を視野に入れた化学の学びを受講生に体験してもらい、学びを深めてもらう。

■ 到達目標

看護師の職務上欠かせない基礎的な化学の知識を培い、また、社会人として日常生活に必要な物質の化学的性質を理解する。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解

■ キーワード

人体の構成元素、化学反応、有機化学

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	化学の基礎知識	化学の単位、原子の構造、元素の周期表などについて学ぶ。	川崎
2	物質の状態	物質の三態、溶液などについて学ぶ。	川崎
3	物質の変化	化学反応、化学平衡などについて学ぶ。	川崎
4	物質の構成	無機物質について学ぶ。	川崎
5	物質の構成	有機化合物について学ぶ。	川崎
6	物質の構成	有機化合物について学ぶ。	川崎
7	物質の構成	ビタミンについて学ぶ。（生化学と関連）	川崎
8	物質の構成	ミネラルについて学ぶ。（生化学と関連）	川崎

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験（筆記）によって評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

演習の解答を次回に提示する。

期末試験は、試験後に採点基準を提示する。

■ 教科書

・奈良雅之著（2018）『系統看護学講座 基礎分野 化学 第7版』医学書院
その他、授業の際に配布するプリントにより講義を進めていく。

■ 参考書・参考資料等

指定のものは特になし。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。

- ・事前学修として、授業項目について教科書を読み、ノートにまとめる。
- ・事後学修として、授業の際に配布する資料とノートを読み、内容が理解できているかどうかを確認すること。

■ 担当教員からのメッセージ

化学の基本的原理を理解してください。

前期後半で開講する「生化学」との連動性も考慮しています。授業には積極的に参加してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容